

ひまわり 1 組 自立活動学習指導案

1 単元名 「自立活動に一人でやってみよう」

2 指導観

○ 本単元は主体的に一人で課題に取り組むことをねらいとし、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編の 2、心理的安定（3）障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること、4、環境の把握（5）認知や行動の手掛かりとなる概念に関すること、5、体の動き（5）作業に必要な動作と円滑な遂行に関することに重点を置く。

知的障害のある児童生徒の場合、言語による理解が不十分だったり、細かい手先を使った作業の遂行や持続が難しかったりすることがある。本学級の A 生徒は中学校 3 年生であり、今後の進学、就労を考えると手先を使い、仕分けや組み立て等の両手や目と手の協応動作などができるようになり、一人で課題に取り組む力を習得することが大切である。その際、活動内容は単に訓練的な活動内容とならないように、内容や課題を工夫し、児童生徒が楽しんで取り組み、達成感が得られるようにする。具体的な活動内容はペットボトルのキャップを写真通りに分類する活動、ビーズと穴にひもを通す活動、ネジやボルト、ナット等をサンプル通りに組み立てる活動を設定する。また、活動内容を振り返り改善し、一人で速く正確に遂行できるよう指導することで「できた」という達成感を持たせることで、生徒の自信になると考える。

○ A 生徒は知的障害クラスの 3 年生女子である。落ち着いた態度で生活し、身辺自立はほぼできている。言葉によるコミュニケーションは単純な内容であれば支障がないが、指示内容が複数であったり、やや複雑になると理解できないことが多い。しかし、手順を一つずつ確認しながら指示したり、支援を受けて体験的に活動することで理解し、活動に持続的に取り組むことができるようになってきている。また、視覚情報に強みを持っているので、掲示物や具体物で説明すると活動の見通しを持つことができる。記憶の定着には困難があるが、似たような活動を繰り返すことでおおむね学習内容が定着する。障害に起因する手先の不器用さがあり、細かい作業は苦手とするが、これまでに栽培や調理の活動を通して少しずつ改善されている。本単元では三つの活動に組み込み、最終段階では一人で課題解決できるようにし、進学・就労へのステップにしたい。

○ 指導に当たっては A 生徒が単元の最終段階で一人で課題を解決できることをねらいとする。そのためには以下のように工夫していく。

- ① ペットボトルのキャップ、ネジ、ひもなど生活上よく目にするものを教材として活用し、見本づくりも一緒に行うことで学習活動の手順を理解しやすいようにする。
- ② 写真や掲示物、付箋紙等を使い活動を支援し、活動途中で混乱せずに取り組めるようにする。
- ③ 活動内容を少しずつレベルアップし、速く正確に活動できるようにする。具体的には段階的に活動内容を複雑にしたり、時間を計測し、巧緻性の向上などスキルアップを図る。
- ④ 活動内容を教師と振り返り、自己評価することで達成感を持たせる。評価シートはシール等で楽しんで振り返るようにする。また、活動の最後に遊びの時間を取り入れ、次回への学習意欲を高める。

3 目標

- 活動の手順を理解し、主体的に課題に取り組む学習を持続することができる。
【自立活動 4 - (5)】
- 見本を観察し、違いを識別したり複雑な手指操作ができるようになる。
【自立活動 5 - (5)】
- 学習活動の振り返りを行い学習上の困難を改善し、意欲的に学習に取り組むことができるようになる。
【自立活動 2 - (3)】

4 単元計画

次	時	学習活動・内容	指導のねらい・内容・方法	評価基準・方法
一	1 ③	<p>1 ペットボトルのキャップを写真を見て仕分けする。</p> <p>(1)ペットボトルのキャップを洗いを種類別に分ける。</p> <p>(2)区切りの中にキャップの写真通りに30~50個のキャップを条件の違いに対応してマッチングする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>一人でできるようにチャレンジしよう！</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>ペットボトルのキャップを写真通りに仕分けができるようになる。</p> </div> <p>・活動の手順を理解できるように、初めは一緒に取り組み、手順を理解出来たら、色別や仕分けする数を増やすなど、活動内容を少しずつ難しくしていく。</p>	<p>・ペットボトルのキャップを写真通りに分別することができる。</p> <p>(仕分け箱) 4-(5)</p> <p>・より分別しやすいようにキャップを表向きにするなど工夫しているか。</p> <p>(様相観察) 5-(5)</p>
二	2 ③	<p>2 ひもを見本通り穴に通し、ちょう結びをする。ビーズを見本通りにひもを通し繫ぐ。</p> <p>(1)ひもを通す厚紙にパンチで穴をあけたり、ビーズの準備をする。</p> <p>(2)数種類の見本を見て、ひもを穴に通し、ちょう結びをする。</p> <p>(3)数種類の見本通りにビーズにひもを通し、玉結びをする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>見本をもとに穴やビーズにひもを通して、ひもの末端の始末ができる。</p> </div> <p>・事前に結び方の練習を行い、ひもの末端の処理ができるようにしておく。</p> <p>・内容を段階に応じて複雑にし、スキルアップを図る。</p>	<p>・見本通りに穴やビーズにひもを通すことができたか。</p> <p>(出来上がり) 4-(5)</p> <p>・ひもの末端の処理ができたか。</p> <p>(出来上がり) 5-(5)</p>
三	3 ③	<p>3 ボルトやナット、ネジなどをサンプル通りに組み立てたり、袋詰めしたりする。</p> <p>(1)教材の名称を知り、組み立て方を理解し、部品の数を確認しておく。</p> <p>(2)サンプル通りにボルト組み立てやネジの袋詰めをし、数を確認して片付ける。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>サンプル通りにボルトやナット、ネジを組み合わせ袋に入れることができるようにする。</p> </div> <p>・名称の確認をし、組み立て方などを練習させる。</p> <p>・袋に入れる組み合わせを変えるなど段階に応じて内容をレベルアップする。</p>	<p>・サンプル通りに袋に入れることができたか。</p> <p>(出来上がり) 4-(5)</p> <p>・数を確認して片付けることができたか。</p> <p>(様相観察) 5-(5)</p>
四 本 時 1 / 1	4 ①	<p>4 単元の活動の仕上げとして一人で課題に取り組み、学習の振り返りをする。</p> <p>(1)支援をほぼ受けないでペットボトルのキャップの仕分け、ひも通し、ボルト組み立てやネジの袋詰めをする。</p> <p>(2)最初よりできるようになったことを教師と一緒に考え、学習のまとめをする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>これまでの課題に一人で取り組むできるようにする。</p> </div> <p>・これまでの学習課題を確認し、課題に一人で取り組むせ、できたことほめる。</p> <p>・単元の課題の振り返りができるように思考の手助けをする。</p>	<p>・三つの活動に一人で取り組むことができたか。</p> <p>(出来上がり) 4-(5)</p> <p>・活動を振り返ることができたか。</p> <p>(振り返りシート) 2-(3)</p>

5 本時 平成30年11月9日(金)第5校時 ひまわり1教室 第4次の1

6 本時の主眼
単元の3つの課題(ペットボトルキャップのマッチング、ひも通し、サンプル通りにボルトやネジを組み合わせる)に一人で取り組むことができる。

7 振り返り活動を仕組む授業づくりの工夫点

これまでの「小さな振り返り」で改善してきたことを活かして最終段階の活動に取り組み、これまで以上にできるようになったことがわかるように教師と一緒に振り返る。

8 準備 振り返りシート ペットボトルキャップ 仕分け箱 キャップ写真 ひもを通すカード
ひも ボルト ねじ ナット サンプル シール 掲示物 かるた

9 本時の過程

段階	学習活動・内容	具体的な手立て(支援)	評価の観点(方法)	形態	配時
つかむ / さぐる・深める	1 これまでの学習内容を想起し、本時の学習の見通しを立てる。 (1) ペットボトルキャップのマッチング、ひも通し、ボルトやネジの袋詰めなどの活動について掲示物や教材を見て、改善したこと工夫したこと確認する。 (2) 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">一人で3つの活動にチャレンジしてみよう!</div>	○課題を想起させるために、写真等の掲示物で活動内容の確認をする。 ○どんなところを工夫したら活動がスムーズにいくか、これまでの「振り返りシート」をもとにした掲示物で確認する。 ○わからないことがあったり、サポートしてほしいときは伝えるようにさせる。(必要な時はカードで示す。)	○ 活動の手順を理解し、主体的に課題に取り組み学習を継続することができる。 【自立活動4-(5)】	個	10
/ まとめる・振り返る	2 改善点や工夫した点を取り入れて、順番に3つの活動に一人で取り組み、チェックを受ける。 (1) ペットボトルのキャップを写真通りに仕分けする。 (2) 見本通りにひもを穴に通し、結ぶ。 (3) サンプル通りにボルトとナットを組み立てたり、ネジを袋詰めしたりする。 3 本時の振り返りを行い、まとめをする。 (1) 教師と活動の中で工夫したり、よりよく取り組めたりしたところを考える。 (2) 「振り返りシート」で今日の活動と単元を振り返り、評価する。 4 時間があればカルタをし、クールダウンする。	○今までの活動に支援や助言を受けずに一人で取り組めるように、教材のひもの色を目立つ色にしたり、手順の掲示物を黒板に貼ったりしておく。 ○活動ごとに課題の出来上がりをチェックし、できていたら褒めるようにする。 ○努力したり、工夫したりして単元の最初の活動より、スムーズに巧みにできるようになったことが認識できるように振り返りを行わせる。 ○遊びの時間を取り入れ、気持ちをリラックスさせる。	学習活動の振り返りを行い学習上の困難を改善し、意欲的に学習に取り組むことができるようになる。 【自立活動2-(3)】	個	30
				個	10